軍令部

第一班

海

川監船潜第二四六號

大正元年十月九日　於神戸港

第十三潜水艇長　神代護次

海軍大臣男爵齋藤實殿

第十三潜水艇呉回航ノ件

第十三潜水艇別紙ノ通リ呉回航ノ予定ニ付
右御届ス

別紙、第十三潜水艇呉回航予定表壱葉添

第三部
第四部
會計課

艦四
10 ・ 14

元．十月十日
軍令部接受

0782

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

大正九年十月九日

第十三潜水艇呉回航予定表

発地	発日時	着地	着日時	航程	記事
神戸	十月十三日午前七時	内ノ海	十月十三日午后三時	五四浬	
内ノ海	仝十四日午前七時	糸崎	仝十四日午后四時半	六六	
糸崎	仝十五日午前八時	倉橋	仝十五日午后二時	四二	
倉橋	仝十六日午前七時	呉	仝十六日午前十一時半	三〇	那沙美水道通過

備考 一、原速七節トス

二、潮流等ノ影響ヲ含マズ多少ノ遅速アルベシ

0783

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

三、天候等ノ都合ニ依リ予定ヲ変更スルコトアルベシ

四、母艦歴ニ九ヲ伴フ

（了）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍令部

軍務局

要

大正元年十月二十日

在重慶

領事代理清水潤之助

外務大臣子爵内田康哉殿

軍艦鳥羽来渝状況

去八月中在上海帝国艦隊司令官ヨリ軍艦鳥羽ニ在重慶當館ノ為メ遡江スルコトヲ命セラレタル旨

ノ電報アリシカ其後九月十四日同艦々長坂田海軍

0785

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

少佐蜀通号ニテ水路視察ノ為メ来渝同九日同号ニテ下江、同二十五日軍艦鳥羽ハ宜昌ヨリ出発シ其ノ優速力ヲ利シ全年同二十日着渝該艦先是当地新聞ハ例ノ如ク兎角我国ノ事ニ付悪意ノ記事ヲ掲載シテ毒筆ヲ振ヒ居タルニ該軍艦ノ溯江ニ会ヒテ如何ヤト注意シ居タル處時恰モ重慶独立、第二次革命等ニ付謠言百出人心動揺ノ折ナリシモ幸ニ何等ノ件備的記事モナク又一般人民ヨリ何等ノ悪感ノ反應ヲ認メス　十月二十日鳥羽艦ハ全年下江該艦同艦ハ上流瀘州及敍州ヘ溯リ去ル六日宜昌ヨリ降下シ其地ハ当地ノ諸官憲、各国領事、各国軍艦等ヲ訪問シ往来シ次テ各国軍艦及其関係国領事ト、

0786

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

当地駐屯師団長、宣慰使、外交分司長等。為
[illegible]維会総理其他主ナル要人及在留民等ト共ニ一
同胞服上ト招キテ酒宴ヲ催シ前記人々又会服
長以下ヲ招キテ酒宴ヲ催シ中ナリ就中参謀総会
総理其他ハ兵員全部ヲ招待シ労ヲ慰ヒ融和ノ
歓ヲ盡シタリ
居留邦人ニ於テモ大ニ歓迎ノ宴ヲ催サレトノコト
ナリシモ大喪期間中ノコト故余興等ヲ省キ
清楚ナル酒宴ニ止ムヘキコトヲ勧メテ一般ハ兵員共
全部ヲ慰労会ノ名ノ下ニ次ニ将校全部ヲ送別
会ノ名ノ下ニ招待セリ
要之ニ今回ノ軍隊ノ遡江ハ大ニ当地官憲其他ト協
人ト融和ヲ増進スルニ力アリシ模様ト認メタリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

大臣具報 大臣具

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

人事局

軍務局

電報着信紙

發					局			着	
報	局	號	日	受付	字	受付		受信取扱者	
支	廿七ゑ七ゑ	第6/一	十月九日	午前後一時三五分	六	午前後9時分		軍令部済	

受信人居所氏名：タイイゲン

指定：八・ワ、タ未

上海発（新□）

十日廿九

平□社□□令□

記事

發信人居所氏名

紙數：第二十

著信番號

日附印

所管鎖守府

通過済

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍令部　艦政本部　人事局　軍務局　第三部　會計課

呉鎮機密第四九九號ノ2

大正元年十月二十二日

呉鎮守府司令長官　加藤友三郎

海軍大臣男爵斎藤實殿

潜水艇及母艇帰港ノ件

四十五年官房機密第四〇六號ノ三訓令ニ依リ横須賀ニ回航セシメシ第二潜水艇隊中第十號第十一號第十二潜水艇及水雷母艦韓崎ハ海軍大演習終結後當港ニ帰港スヘキ旨訓令相成居タル処…

右報告ス

十月廿三日

海軍

0790

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍令部

軍務局

松江機密第三七號 ノ七

大正元年十月廿九日 於舘山

松江艦長 菅 曽一郎

海軍大臣男爵斎藤實殿

測量艦松江十一月中行動豫定表

月日	所在	行動作業
自十一月一日 至仝十日	測地	錘測施行
十一月十一日	測地発 横須賀着	
自十一月十二日 至仝十八日	横須賀	横須賀鎮守府聯合通信検定参加、炭水糧食搭載
十一月十九日	横須賀発	
十一月廿一日	阿波鯖瀬着	
十一月廿二日	阿波鯖瀬発	

0791

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

自十一月廿三日 至仝廿五日	航海	海流測定
十一月廿六日	紀州大島着	
十一月廿八日	紀州大島発	
自十一月廿九日 至仝卅日	航海	海流測定

備考　十九日以後ノ行動ハ天候ノ模様ニ依リ変更スルコトアルヘシ

（終）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

供覧

軍務局

號外

大正元年十月廿五日

吹雪驅逐艦長　下川巳藏

海軍大臣男爵齋藤實殿

行動豫定ノ件

本艦本月廿六日午前五時横須賀發廿七日午后四時徳山着ノ豫定

右報告ス

（終）

海軍

（東京北村製）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

（試用）

起案紙

大正元年十月廿四日起案　起案者捺印

十月廿六日發付　發付掛捺印

發付後起案者捺印

大臣　（主務）

次官

副官

參事官

人事局長

經理局長

艦政本部長

第二部

會計課

番號　九九二號ノ二

大正元年十月廿六日

横鎮第四一六ノ六一　泥受船甲船ノ名ヲ武蔵ト改メ臨時

甲船ハ港内ニ於テ勤務セシメ乗員ハ全定員ノ範囲内ニテ

命シ方ノ件認許ス

局、部	官房	軍務	人事	醫務	經理	司法	艦政	教育	醫建	水路	軍令
受月日			十廿四		廿五						26/10
發月日		十廿六	十廿五		十廿五						28/10

大臣官房接受　十月廿五日　二一　10.25

ア–78170

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

人事局

軍務局

官房第九五一号

十月二十三日午后五時五十五分 局發

十月二十三日午后九時四十五分 局着

發信者 横鎮司令長官

受信者 海軍大臣

電報譯

横鎮第四一六ノ六一 橋立吹雪引卸シニ用ヒシ泥浚船四隻四日市港ニ残シアルニ付該船ヲ当港ヘ回航ノ為メ武蔵ヲ臨時伊勢湾ニ出動セシメタシ又其ノ乗員ハ全艦員ノ範囲内ニテ麾下ノ人員ヲ以テ本府ニ於テ命スルコトニ併セテ御認許ヲ乞フ

0736

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報着信紙

報	發局	第　號	月　日	受付 午前後　時　分	字	着局 受付 午前後　時　分	受信取扱者
大	ヨコスカ チンジュフ	第八號	十月二日	午前五時　分	二六三字	午前五時　分	

受信人居所氏名
カイグン ダイジン

着信番號	紙數	發信人居所氏名
二〇	第二十九號	ヨ八

着信日附印

指定

記事

ヨコチンタイル一六
ノ六一、タル、フリ、
チキヲロンニルチイン
ドロウケセン四七キ
ルカイチミトトニノコ
ミヲルニツキガイセ
ンヲトウコウヘエイコ
ウノタメ、ムイ、ヲリ
ンンイセウンニミツ
ドウセミメタミマメ

0797

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報着信紙

發局				着局	
報 [illegible]	局	第 號	十月[illegible]日	受付 午前後 時 分	字
				受付 午前後 時 分	受信 取扱者

受信人居所氏名：（二）

發信人居所氏名：

紙數：第三十號

着信番號：

着信日附印：

指定：

記事：

ソノゼウインハゼンテイインノハンイナイ一テキカ[illegible]ノビンインヲモウテホンプニヲイテメイ[illegible]イスルコトニ[illegible]アワセテゴニンキヨヲコウ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

十月三十一日
公報

軍務局

電報着信紙

受信人居所氏名	
	タイヤガシ

報	發局	第 號	日	受付 午前/後 時 分	字	着局 受付 午前/後 時 分	受信 取扱者
友	サセホ	二三	十月三一日	九時四分	二〇	十一時五分	

發信人居所氏名	紙數	着信番號
サナ	第九號	六

指定

記事

タイ一ノ四タイヨ
レイ四カン二ト三
ヒ、フリ三ヨテイオ

第一駆逐隊司令駆逐艦ヲ
本日吹雪ニ指定ス（弥生ヨリ）

十月三十一日
第一艦隊司令長官

着信日附印
1. 10. 31

0799

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

[illegible]

海軍

十一月十六日午前十一時十八分 佐世保局發

月　日午　時　分 本省着

發信者 野田第三艦隊司令官代理

受信者 海軍大臣

電報譯

秋津洲、須磨、從二十六日横濱發先ツ所属軍港ヘ回航スベシト訓令セリ

軍務局

人事局

官房

(花時納)

1115 0800

電報着信紙

報	局	號	日	受付	字	受付	受信取扱者
坂	サセホ	第八號	十月十七日	午前十時十分	九五字	午後9時五分	[illegible]

受信人居所氏名：タイセン

アワ、スケ、ヨワ、ニ
一六ヒココハ、マハツテ
ヅ（サレツ、キテヨツ
ラテエヌワ）トクンレ
イヒモリ、マケダタ
ザダイリ

指定

記事

着信番號 五

紙數 第二十七號

發信人居所氏名

着信日附印

0801

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍令部　艦政本部　軍務局

第一部
第二部
第四部
會計課

電報着信紙

發信局	局番號	號	日	受付	字	着信局	受付	取扱者
佐世保		第一一六號	十二月十六日	午後12時 分	一〇八の字	東京	午後1時40分	

受信人居所氏名：カイグンセウ フクカン

發信人居所氏名：サテ

紙數：第十四號

着信番號：三七

サンコンジホンヒ
フミジケクリヨウ
スアスアサセジミミエ
クコウジサミジクセイ
ノウエミセジハイニム
コフコテチテンノメメ

球工事本日午后三時済了明日朝七時
迄艤附属修繕上上海ニ向フ予定為
今十六日

サセホ
嶋崎

第一班

19/11

0802

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

松江機密第三七號ノ八

大正元年十二月十八日 於横須賀

松江艦長 菅 楷一郎

海軍大臣男爵 斎藤實殿

本艦十二月中行動予定表中十九日以後ヲ左ノ通変更ス

月日	所在地	行動
自十二月十九日 至仝 廿一日	横須賀	清水、糧食、石炭並兵備品搭載
廿二日	横須賀発	自差測定
廿三日	航海	
廿四日	阿波鯖瀬着	
廿五日	阿波鯖瀬発	
自廿六日 至三十日	測地航行	海流測定

右報告ス

海軍

(東京北村納)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

松江艦機密第三七號　一九

大正元年十二月廿日　於横須賀

松江艦長海軍中佐菅楷一郎

海軍大臣男爵齋藤實殿

測量艦松江十二月中行動豫定表

日	所在	行動作業
十二月一日		測地航行海流測定
自十二月二日 至十二月三日	鳥羽	
十二月四日	鳥羽發	
自十二月五日 至十二月十四日		測地航行海流測定
十二月十五日	鳥羽着	
十二月十六日	鳥羽	

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

十二月十七日 鳥羽 発

自十二月十八日
至十二月廿九日 測地航行 海流測定

十二月三十日 下田 着

十二月三十一日 下田

備考 但行動中ハ書類発送受領地ヲ鳥羽ニ定メ天候ノ都合ニヨリ
由良、串本、御前崎泊地等ニ寄港スルコトアルベシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

松江機密第七號ノ一五

大正元年十二月一日　於紀伊大島
松江艦長　管智一郎

海軍大臣男爵齋藤實殿

一、測量艦松江十一月中行動作業摘要報告

右提出ス

（別帋二葉添）

（終）

局員

海軍

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

測量艦松江十一月中行動作業

日	所在地	事業
一日	伊東	前日来ノ長濤ノ残レルヲ認メ出港取止ム
二日	伊東	夜来ノ強風雨未タ収マラス海上ノ模様不良ニ付出港取止ム 正午伊東発
三日	自伊東 至三宅阿古	神津銭洲間並ニ銭洲西側ノ鉛測施行后阿古ニ泊ス
四日	自三宅阿古 至仝大舟戸	阿古出港三宅島南西側及神津三宅両島間水道ノ鉛測施行后大舟戸ニ泊ス
五日	自大舟戸 至新島本村	大舟戸出港三宅島北側ヨリ新島西側ニ至ル鉛測施行后本村ニ泊ス
六日	自本村 至館山	書類受領、生糧品搭載並ニ掌電信兵一名海軍省ヘ出張セシムル為メ館山ニ入港ス
七日	自館山 至大島岡田	館山出港大島南側ノ鉛測施行后岡田ニ泊ス
八日	自岡田 至館山	岡田出港鵜渡根島東側ノ鉛測施行后館山ニ泊ス
九日	自館山 至横須賀	横須賀ニ帰港 本日以降南方諸島ノ鉛測ハ完了
自十日 至廿六日	横須賀	炭水糧食等搭載、観艦式参列 補充交代施行 横須賀鎮守府通信（模型）術ニ参加、下士卒
廿六日	横須賀	海流調査用特製験流標若干個搭載 本日午前九時出港ノ処風雨ノ為メ取止ム

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二十三日	自横須賀経館山至阿波岸岐	足摺埼ヨリ犬吠岬ニ至ル南海岸ノ海流測定ノタメ出港館山ニ寄泊
二十四日	自館山至岸岐	航海中
二十五日	自館山至岸岐	阿波国岸岐着特製浮標試験別ニ竹製並ニ鉄製浮標数個ヲ製作試験ス
二十六日	自岸岐至測地	海流調査ノ為メ岸岐ヲ発シ測地附近ニ達セシモ天候不良天測不能ニ付岸岐ニ引返ス
二十七日	自岸岐至測地	岸岐着后岸岐ヲ発シ測地ニ至リシモ風波強大ノタメ特製浮標ノ投入ヲ止メ仮製浮標ヲ試用セシモ風波ノ為メ不結果ニ了リ且ツ天候モ不良ニ趣キ天測不能トナリタルヲ以テ岸岐ニ引返ス
二十八日	岸岐	岸岐着仮製浮標改造
二十九日	岸岐	天候見定ノ為メ出港ヲ見合セシニ陰雲多ク前日来ノ天候ト差異ナク天測不能ト認メ出港取止ム
三十日	自岸岐至測地	岸岐発測地ニ達シ海流調査ニ着手但シ特製浮標ニ故障起リシヲ以テ仮製浮標ヲ代用ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

（試用）

紙要

大正元年十二月六日起案　起案者捺印

十二月七日發付　發付掛捺印

發付後起案者捺印

（主務）軍務局長

大臣　次官　副官　參事官

經理局長　艦政本部長

軍令部長　次長

局員　二部　計課

第一班　第二班　第三班

電報

十二月七日

佐世保鎮守府司令長官

第五驅逐隊二隻廻航

局、部	官房	軍務	人事	醫務	經理	法務	艦政	教育	歸理	水路	軍令
受月日					十二、九		十二、九				6/12
發月日							十二、十				

0809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

動用客ニ於ハ配賦豫算内ニテ支弁スル儀ト心得ヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

寄局

大正元年十二月　日午前十一時十五分　佐世保局發
十二月　日午后一時一分　局着

受信者　海軍大臣

發信者　佐鎮長官

電報譯

米爲西洪及附近望樓ヲ視察セシムヘキ佐世保鎮守府参謀長係員ヲ並テ九號驅逐隊ノ武隻ヲ巡航セシメ度キニ付本月九日ヨリ四日間出動ノ儀特ニ御認許ヲ請フ

特別上差支無之旨返電

（經）

（化暗納）

海軍省

0811

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報着信紙

發局					着局	
報	局	號	日	受付	字	受付
官	サセホ	第五五號	十二月六日	午後十一時一分	二九八字	午前一 分

受信人居所氏名：ダイジン

タケミキヨウコウオロ
ピフキンカウロウ
ヲミサツセミムヘキ、
サハ、ノゼウヨウヲ
カチカ、ノナ、ノニセ
キキミユンコウセミ
メタキニツキキミツキ
ルヒヨリハヒカンミツ
ロウノカトリニヅ
ニンキヨヲフ

指定

記事

着信番號	紙數	發信人居所氏名
レ	第三十九號	サロ

着信日附印

0812

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

信二綴

三月一日午后四時二十分 佐世保 發局

月日午后三時五十九分 海軍 局着

發信者 佐鎮参謀長

受信者 軍務局長

電報譯

[illegible]艦長ノ二度目ノ報告ニ依レハ上ヤセうしきんニ[illegible]ガ
[illegible]ニ[illegible]カさんト地ノ節[illegible]駐[illegible]テ[illegible]ノ
[illegible]
[illegible]ヤノ都合ニ依リ[illegible]カ[illegible]アル[illegible]
ヒラキモノ

海軍

0813

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報着信紙

報	發信局	番號	日	分	字	受付	分	着局	取扱者
	サセホ	第六二	月 日	午前/午後 時 分	字	午前/午後 時 分			受信

受信人居所氏名

九、クナヘノ二セキミ
ツドウノケミゼウ
ミシセアルタルワド
ウタイガセキタミワ
リヤイニユタカナルト
メノダイイミピ、
クナ、ノコウドウニ
チスウワコノサイセウ
ヒスルヲオミムノミナ
ラズキウカクリアワ

指定

記事

着信番號 七

紙數 第五號

發信人居所氏名 サハ

着信日附印

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報着信紙

着局			發局						受信人居所氏名
受信 取扱者	受付 午前後 時 分	字	受付 午前後 時 分	月 日	第 號	局	報		(二)

指定

記事

セノリヨウトニヨル
ガユエニトクニゴ
ニヒキヨアルヨウトリ
ハヤクイヨユタ

着信番號	紙數	發信人居所氏名
	第六號	

着信日附印

0815

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

臺海機密第三〇號ノ二

大正元年十二月十三日

臺灣總督府海軍參謀長　秀島成忠

海軍次官　財部彪殿

別紙馬公要港部司令官ヘ照会写御参考迄

右送付ス

（終）

軍令部

軍務局

第一班

第二班

海軍省接受　一二月廿四日

0816

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

了

臺海機密第三〇號ノ二

大正元年十二月十三日

臺灣總督府海軍參謀長　秀島成忠

馬公要港部司令官　小泉鐵太郎殿

蕃地沿岸及海賊取締ノ為メ驅逐艦派遣ノ件

本島東海岸ニ棲息スル太魯閣蕃ハ由來頑迷兇暴ヲ極メ二十九年軍隊ヲ以テ討伐シタルモ効果ナク三十九年ニハ花蓮港支廳長以下三十有餘人ヲ殺害セラレ四十年七月ニハ浪速秋津洲ノ派遣ヲ受ケ砲擊ヲ開始シ多大ノ損害ヲ與ヘタリ然ルニ同方面ノ地形タル海岸山脈ニ屬シ取締ノ十分ナラサルニ乘シ島内他方面ヨリ密輸入ノ痕跡顯然トシテ存シ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

且彼等カ唯一ノ必要品タル食塩ヲ其海濱ニ於テ自由ニ製造スルヲ以テ不絶之レカ取締ヲ嚴密ナラシムルノ必要アリ之レカ警備及取締上ニ関シ驅逐艦ヲ以テ之レニ充テシメラレ度

従来沿岸ニ於ケル海賊ノ遭難ハ多少免レサリシモ本年ニ至リテハ十三件ノ多数ニ達シ従テ我カ損害モ甚ナカラス然シテ其海賊船ハ主トシテ対岸ヨリ来ルモノヽ如シ是レ南清一帯ノ秩序紊乱シ取締ニ暇ナキニ乗シ横行スルモノト認メラレ其時期ハ天候等ノ関係上主トシテ七月ヨリ八月末ニアリ沿岸ノ船主其堵ニ安セサルノ状態ナルヲ以テ来年ハ是非取締ヲ嚴ニシテ其災厄ヲ免カレシメ度

前陳シタル取締ニ関シテハ総督府ノカヲ及ハサル處モ有之所属三浦丸ヲ以テシテハ行動殆ント不可能ナルヲ以テ貴部ノ御助力ヲ希望スル次第ニシテ右御承諾ノ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

上四月ヨリ九月末迄駆逐艦一隻ヲ特派セラレ以テ蕃地
沿岸ノ封鎖及海賊取締方御配慮相煩度
右御協議ス

終

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

海軍省副官

第三艦隊参謀　　副官

貴艦ノ行動豫定未タ決定セラレザルヤ決定次第便乗者ノ都合モアリ決定次第至急電報アリタシ

大正元年十二月三十日午后十時三十五分発電了

海軍

0820

軍務局

第三艦隊参謀

副官

本月末又ハ来月上海出発広東ニ向フヘキ軍艦ニ便乗ノ上本庄少佐ヲシテ沿岸寄港地ヲ視察セシメタキ旨陸軍当局筋ヨリ内談アリ依テ嵯峨ノ行動予定決定次第電報アリタシ

大正九年十一月六日午后四時十五分発電

木村

軍務局

至急

電報譯

大正元年　月　日　午后十一時半分　佐世保局發

大正元年十一月廿二日午前一時半分　本省局着

受信者　海軍次官

發信者　佐鎮参謀長

右ノ通リ統営附海軍武官ヨリ電報アリ
本府ニテハ直ク之ニ応シ水雷艇二隻
ヲ出動セシムルコトニ手配中、右報告ス
トロール漁船十数隻数日前ヨリ朝鮮東
岸チクヘン湾附近ヨリ南岸ナヒカイ島附
近ニ到ル沿岸ニ出没シ禁漁区域ヲ犯シ
漁業船ノ被害最多ク一般漁民ノ恐慌ヲ
来シ沿岸水産組合其他ヨリノ警報数

海軍

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

ミタリ本府警備船ニテ取締方手配中ナ
ルモ微力ニテ奏功ノ見込ナシ依テ貴府ヨリ
至急水雷艇隊又ハ適宜ノ艦船ヲ釜山港
ニ派セラレ今警察署ト協議シテ取締處
置セラレンコトヲ貴府ニ依頼方顧問警務
部長ヨリ依頼アリ貴府ノ御都合如何折
返シ御回報ヲ乞フ

了

海軍

0823

電報着信紙

發						着		局
報	サセホ 局	第 號	日	受付 午前後 十一 時 分	字	受付 午前後 時 分	受信 取扱者	

受信人居所氏名

指定

記事

サノトヲリ、トルヽヨ
リデンポウアリホ
ンプニテッスグニ
ヨレニオオヒ、スヨ
、ニセキヨヒツドウ
セヒムルコトニテハイ
チウミキカウコクス
トロールギヨセン—
ノスウセキスウヒツ
セヒンヨリテウセント

着信番號	紙數	發信人居所氏名
	第四十八號	

着信日附印

0824

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報着信紙

發局				着局		
報	局	第 號	日	受付 午前後 時 分	字	受付 午前後 時 分	受信 取扱者
至			一二月14日			1	

受信人居所氏名
一
二

發信人居所氏名

着信番號	紙數
	第四十九號

着信日附印

指定

記事

ウガンチクヘンワン
フキンヨリナンガン
ナンカイトウフキニ
イタルエンガンニン
ツボツミキンリヨウ
リイキヲオカミギヨ
クギヨセンノヒガ
イオウクーパンンキッ
ヨミンキヨウコウ
ヲキタミエンガンヘ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報着信紙

發						局	着	局
報	局	第 號	月 日	受付 午前 後 時 分	字		受付 午前 後 時 分	受信 取扱者

受信人居所氏名

三

指定

記事

發信人居所氏名	紙敷	着信番號
	第五十號	

着信日附印

イサンクマアイソノタ
ヨリノケイホウヒンピ
ンタリホンフケイビ
センニテトリシマリ
カメテハイチウナルモ
ビリヨクニシテソウ
コウノミコミナシコツ
テキフヨリシキウスイ
ライテイタイマタワテ
キキンノヤンセンチフ

0826

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

電報着信紙

着局		發局					
受信取扱者	受付 午前後 時 分	字	受付 午前後 時 分	一二月二〇日	第 號	局	[illegible] 報

受信人居所氏名

發信人居所氏名

紙數 第一號

着信番號

着信日附印

指定

記事

サンコウニハセラレド
ウケイサツシヨトケ
ウキシテソウトウシ
ヨチセラレンコトヲキ
フニイライカタアカシ
ケイムソウテウヨリイ
ライアリキフゴウゴ
ウイカガオリカエ
シゴカイセウヲコフ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

松江機密第三七號ノ一〇

大正元年十二月二十九日 於横須賀

松江艦長 關 郁郎

海軍大臣男爵 齋藤實殿

測量艦松江大正二年一月中行動豫定表

月日	所在	作業
自一月一日 至五日	測地航行	海流測定
六日	館山着	
七日	館山	書類受領 需品糧食搭載
八日	館山発 第一班	
自九日 至十四日	測地航行 第二班	海流測定
十五日	館山着	

軍務局

軍令部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

十六日	舘山発	
自十七日	横須賀着	
至三十一日	横須賀	測図調整、水路誌草作製

右報告ス

終

三浦納

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

大正元年十二月三十日

四艦第三艦隊参謀

森山海軍省副官殿

香港ヘ入港期日ノ件

今般南清沿岸巡航ニ付香港ニ入港期日ハ第二艦隊司令長官ト當隊司令官ト協議ノ上同時ニ入港ノコトニ決定セラレ候次第ニ有之候

右為念通知ス

軍務局

0830

海軍
佐世保鎮守府
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

官房 一四九三號ノ二

軍務局

艦政本部長

會計課

管第六〇五號

大正元年十二月廿六日

遞信大臣男爵 後藤新平

海軍大臣男爵 斎藤實殿

歐洲航路ノアントワープ航路定期船

熱田丸ノ同港ニ寄港スル件

本件ニ關シ十二月二十四日付貴官第一四九

號ヲ以テ照會之趣 日本郵船會

株式會社ノ出願ニ對シ認可致候ニ

了知相成度候

0831

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

起案用紙第一號

大正元年十二月廿日起案　十二月廿七日發付

大臣
次官
政務部
副
參事官
會計課

經理局長
監督局長
主任局員
局員

全副官発員

大正元年十二月二十四日　大臣

遞信大臣宛

熱田丸航路変更ノ件

發送番號　官房第四九三

0833

0832

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

官房接受 十一月廿二日

0833

0832

本件ハ逓信省管船局ト打合済ノ
経来交附ノ旨要ス本印ヲ捺押ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

目下英國昆社ニ於テ建造中ノ帝國
軍艦金剛受領ノ為メ出張員五百餘
名大正二年一月中旬横濱出帆ノ
熱田丸ニテ渡英ノ筈ニ有之候處倫敦ヨリ
同艦ノ建造地タルバーロー迄ハ軍隊竝
軍需品ノ陸路輸送ハ頗ル不便ニ有之
候ニ付同船ヲバーローヘ回航セシメ度
ニ付同船特ニ指定航路変更方日本郵
船株式會社ヘ指令相成度
右照會ス
追テ同船バーローニ寄港ノ為メ延航ノ
寄航ヲ前要スル場合ニ於テハ何分
ニ御了承相成度候也（了）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/